

福岡で拡大相次ぐ

外国人実習生受け入れ

福岡県で外国人技能実習生の受け入れを拡大する動きが広がっている。中小メーカーなどで組織するP・W・J・協同組合(福岡県筑後市)は来春から初めてミャンマーの実習生を受け入れる。福岡県築上町に拠点を持つJプロネット協同組合(愛知県豊田市)では来年度の受け入れを約2割増やす。将来のアジア進出をにらみ、中小企業が現地の人材を求めている動きに対応する。

P・W・J・協同組合は、実習生を受け入れるため、九州の中小製造業など約40社で構成する組

中小40社 ミャンマーから20人
トヨタ系 来年度2割増500人



織。同組合は来春に初めてミャンマーから20人程度を受け入れ、福岡県と佐賀県の企業に送り出す計画だ。人材派遣業のアクセス・ジャパン(福岡県筑後市、野田高広社長)が仲介などで協力する。ミャンマーの実習生は九

Jプロネット協同組合では来年度に受け入れる外国人技能実習生を約2割増やす(福岡県築上町の研修所)

デザイン部門分社化

中山鉄工所 女性向け勤務体系に

機械メーカーの中山鉄工所(佐賀県武雄市、中山弘志社長)は来年にデザイン部門を分社化する。厚生施設を転用して、本社や工場とは独立した事務所を構える。本社とは

入した。同プリンターを活用するなどして、従来業務所内には託児所も設ける計画。同社の主力製品は土木工事などで使う破砕機。

「ふくおかフィナンシャルグループ(FFG)の親和銀行は6日、長崎市で約180社が出展する大規模商談会を開いた。長崎では過去最大規模の商談会で4千人が来場した。長崎県内で

親和銀

出展の大商談会 融資拡大狙う

「長崎ビジネス交流会2013」には国内の小売・量販に加え、中国やシンガポールなどアジア各国からバイヤーが参加。出展した食品関連企業など面談した。会場のおちこちで名刺交換や商品の味見をする光景が見られた。製麺の白雪食品(長崎市)と、食品関連の40〜50社を

州では珍しいという。同組合は従来、中国からの技能実習生のみを受け入れており、2013年度の受け入れは約100人だった。来年度の実習生はミャンマーからの受け入れなどで今年度の2倍強に増える見通し。

トヨタ自動車系列の自動車部品メーカーなどで構成するJプロネットは福岡県築上町の研修所で受け入れる実習生について、14年度に500人と13年度比19%増やす。従来は中国とベトナムから実習生を受け入れていた。来年度からは企業の

要望に応じてインドネシアからも受け入れる。受け入れた実習生は主に九州や東海の自動車部品メーカーに送り出す。新たな国から受け入れたり、実習生の数を増やしたりするのは、海外展開を考える中小企業が増えているためだ。進出しても円滑に意思疎通できる人材を現地採用するのは難しい。制度を使って将来、現地で雇用できる人材を育てたいと考える企業が増えている。

P・W・J・協同組合の参加企業では経済成長が続くミャンマーへの関心が高く、「将来にミヤ

国際線専用施設を公開 佐賀空港、18日開業



18日に開業する佐賀空港国際線専用ターミナルが6日、報

ンマーへ進出する際、現場責任者となる人材を育成したいと考える企業もある。「アクセス・ジャパンの野田社長」。

一方、Jプロネットに協力する人材派遣のテクノスマイル(福岡県宮若市、馬見塚謙社長)の渡辺満夫顧問によると、「実習生の半分近くは日本企業